

Nihon Univ. Equestrian Team

Vol.3 2006. Autumn

監督 諸岡 慶



勝つための精神とは

「武運長久」この言葉を、関東学生の前、想いを込めて旗に寄せ書きをいれた。昨年から続く、度重なる人馬の故障、さまざまな意味を込め、本学の象徴でもある「桜」、この馬事公苑に見るものを魅了する桜が咲くことを願い、祈る気持ちで書き入れた。就任3年目、8年振りとなる関東学生の障害での団体優勝、

勝つと決めたものをまず一手にいれた、そんな気持ちだ。選手には、寮から出るとき、玄関から靴をどっちから履くか、その一歩からすでに勝負は始まっていると、勝負事に対する気持ちの持ちようを強く植えつけてきた。これは、日々の鍛錬、些細な心掛け一つが最後には自らの勝負運までも掴みとることになると、私の勝負に対しての心。これを理解してほしかったからだ。そして、実際の行動を司る精神こそがすべての正否を握っている。ライバルとの技術の差をいかに縮め上回っていくとするか、その答えは団結の心と馬に対する情熱とチームに対する誇

りに辿り着き、これら一つ一つの要素を形成する源が精神であるとともに、またコーチの指導のもとで自らの最大の力を発揮するにも崇高な精神が不可欠である。学生馬術を極めようとする彼等の姿は、能力を発揮できるスペシャリストを組み合わせ、それは、選手、馬付、日大馬術部すべてに属する者が一丸となって一つの目標に対して、有機的な結合を図る様は、現代の企業構造や社会構造であり、それをそのままスポーツという分野で完成させている、彼等が六会を出る時は、この21世紀社会をリードする即戦力としての精神を司っているはずだ。秋の全日本学生三大会、自己が持ち続ける未知なるものへの挑戦を可能とする、勇気と誇りを持ってすれば大空へ駆け上がることも充分可能だろう。全てはここから。武運長久を祈る。



Shigeyuki
Hosono



コーチ 細野 茂之

早くも上半期の競技会が終了しました。中島主将率いる新生日大馬術部はスタートダッシュに成功し新人戦、東都学生、関東争覇戦と勝ち進んできました。細かい注意点は多々あるもののチームワークと個々の力を発揮して頑張ってくれたと思います。満を持して迎えた関東学生は障害で同点ながらもタイム差で勝利し総合も0.4点差で3位専修を振り切ることが出来、3種目総合2位で前半を折り返しました。1位明治とはまだ技術的にやや差はあるものの接戦をモノに出来たという

ことは非常に収穫であった。それは近年みられなかった勝利への執念の表われだと思ふ。そして、これに満足することなくストップザ明治で全日本に向けてモチベーションを保ちつづける事が大事である。今、明治との差は個々の馬場馬術の差である。馬場馬術に急仕込みはなかなか通用しないので下級生のうちに基本馬場をみっちり仕込んで上級生になって花を咲かすというのが理想だろう。今の1、2年生には好き嫌いではなく、馬場馬術の重要性を認識して練習を充実させてもらいたい。諸岡監督はじめ、OBの方々のご尽力で馬匹は、非常に揃ってきており幸せな学生たちである。ぜひ、チャンスを自分自身の力と技で引き寄せるんだという気持ちを忘れずに後半戦を乗り切ってほしいものである。



Yusuke
Nakajima



主将 中島 悠介

6月に行われた関東学生三大会におきましては、桜蹄会の方々、日大の関係者の方々を始めとする多数のご応援ありがとうございました。皆様の温かいご声援の御陰で二回走行において、8年ぶりに団体優勝することが出来ました。本当にありがとうございました。

「何が何でも勝つ！」細野コーチの言葉を胸に秘め、今年の日大は部員全員の試合に臨む意識改革から始まりました。その為に緊張感のある練習を心がけ、その結果として関東新人戦の団体優勝から始まり上半期における団体戦で8勝をあげることが出来ました。

そして秋に行われる全日本学生…。自分自身の4年間の集大成であり、諸岡監督を始めとする、今までにお世話になった方々に恩返しする為にも、チームを引っ張り優勝することが主将として最後にして最大の使命だと思っています。全身全霊を懸け全日本学生優勝を目指しますので、この先も変わらぬご支援ご声援を宜しくお願いいたします。



黄金時代



Hiroaki Iwasaki



4年生になり、年間の行事、試合がすべて戻ってくることはないのです。最後の関東学生が終わり、結果として8年ぶりに障害の団体優勝ができました。今年からコンビを組んだ桜春号のおかげで自身も団体優勝に貢献することができましたが、自分の中で決して満足できるものではなかったため、全日本学生では完璧な走行、圧倒的なパフォーマンスで、勝ちたいと思います。総合馬術においても、団体2位という結果に終わりました。一頭棄権してしまい、フルメンバーではなかったのですが、優勝にはまだ届かないところにいるので、自分の馬場馬術を向上させ、個人でも優勝争いできるようにしたいと思います。今年が大学生活最後の全日本学生なので、悔いの無い様全力で、自分の持っている力をすべて出せるように頑張ります。

総務
岩崎 浩明

副主将

高田 康司

人生で四回しかない全日本学生も、今年で残すところ後一回となりました。正直今までの三年間で自分が部活に貢献できたと思える年は未だにありません。しかし、今年は関東学生の障害で8年ぶりに優勝し部活も自分も多少は勢いになっているのではないかと思います。だからこそもう一度気を引締め、人生最後の全日本学生をすばらしい形で終われるよう全力を尽くしていきたいです。また、監督をはじめコーチ、OBの方々には感謝してもきれませんが、少しでも成績で応えられるよう頑張ります。

Kouji Takata



勝利への執念

Hidetaka Tsurubayashi



ゼネラル
マネージャー

鶴林 秀貴

気付けてみれば部屋の枕もとのには数々のメダルとリボン、トロフィー。何も分からずに入部し、過ごしてきた4年間の思い出の賜物。先輩、コーチ陣の練習、夏の強化合宿、海外遠征、仕事面でも様々な経験をさせて頂いた。そして、迎える2006年秋の全日本学生。様々な事を学ばせて頂いた4年間の集大成である。監督コーチ陣による完璧といえる組織構成。4年前の私とは格別に違った私。苦労と共に喜びを分かち合い、過ごしてきた同期。何も言わずについて来る後輩。どれをとっても今までに無い素晴らしい環境。この素晴らしい条件の中で迎える全日本学生を、私たちにとって最高のものにしたい。

昨年は、桜藤号と共に全日本学生の二走行に出場してもらい、自分にとって大きな経験をさせていただきました。そして今年も、新たなパートナーのゲスワーク号で全日本学生の二走行に出場し、日本大学優勝に貢献したいです。また、この試合が4年生にとっては最後の試合になります。今まで、自分が1年生の時から面倒見ていただき、一番長くお世話になってきた先輩方です。その先輩方の為にも、この試合を、最高の舞台にするには、優勝という2文字以外はありません。チーム一丸となり、いざ、日本大学優勝へ...

Shoubei Morita



副総務

森田 祥平

Kazuya Otomo



診療補佐

大友 和哉

この秋俺は今年の全日本学生での目標は、3種目すべてに出場し団体の3人の中に入り、チームに貢献することです。春の関東学生では、障害と馬場に出場しましたが、どちらも馬の能力を活かすことができず、不本意な成績でチームに迷惑をかけてしまいました。特に馬場では自分のミスで大きく点を落としてしまい、情けない限りです。秋までには自分の欠点を少しでも多く改善し、日大の真のレギュラーになりたいと思います。

頑張れ自分

秋の全日本学生に向けて今自分がやるべき事はひたすら練習です。

自分は関東学生の馬場でレギュラーとして出ましたが結果は悪く全然チームに貢献できませんでした。全日の馬場は1つ枠が減り3人になります。その3人の中に入れ

Naoto Watanabe



るかどうかも分かりません。今のままじゃ日本のレギュラー争いには残れないと思います。だからこそもっと練習して全日本学生という舞台に立ちたいと思います。

渡邊直人

Mio Kitamura

北村美緒



日本大学馬術部に入部して早いもので3ヶ月が過ぎました。乗馬クラブでただ馬に乗り、試合に出ていた高校時代とはまるで違い、日々の練習の大切さ、試合に出て結果を出すという事の難しさを今強く実感しています。私の目標は来年の全日本学生に出場する事です。そのためにも今は馬術の基本をしっかり身に付けたいと思います。同期の仲間達はもちろん、先輩方にも負けたくないと思う位の気持ちで、一鞍一鞍を大切に、少しずつでも確実に自分自身を高めていきたいと思っています。

施設案内

Guide of facilities in mutuai



今年、六会の中庭に蹄洗所を建設中です。諸岡監督監修のもと、1頭あたりのスペースが広く、人馬共に怪我の無い様にアイデアされています。

そして、1度に手入れ出来るのが最大2頭だったこともあり、手入れ待ちの馬が多く、時間がかかってしまい、学校に行くのが遅くなる人もいました。新しく4ヶ所作

っていただけで、人も馬たちも練習後すぐに手入れ出来るようになります。部員一同感謝し、大切に使用させていただきます。



アナザーヒーロー



鈴木心佳子 Mikako Suzuki

日本学生馬術連盟で広報・庶務を担当しています、3年の鈴木心佳子です。

半年前まで、大変だと聞いていた学生幹事に私になるとは思いませんでしたが、今は同期の仲間と協力し楽しく仕事をしています。学生幹事の中には馬術経験者は少ないので馬術経験者として選手・サポートする側の両方の気持ちを理解し、大会運営・学馬連等の仕事に努めたいと思います。

秋に行われます全日本学生馬術三大大会・全日本学生馬術選手権大会では幹事として責任を持ち、大会が盛り上がるように努めたいと思います。

また、幹事になると馬に乗れないと思われがちですが、私は幹事をしながらでも大会に出場し、部活と幹事を両立させ周囲の印象を変えたいと思います。幹事として大会運営をしつつ全日本学生馬術選手権大会に出場を目標に頑張りたいと思います。





Result & Schedule

~Autumn Season 2006~

3月

3日~5日 第30回 関東学生馬術新人・OB戦 ~ **団体優勝**
 11日~12日 第50回 三獣医大学馬術大会 ~ **団体優勝**

4月

14日~16日 第43回 東都学生馬術大会 ~ **団体優勝**

6月 関東学生馬術三大大会 馬事公苑

3日~4日 第76回 関東学生馬術争覇戦 ~ **団体優勝**
 22日~25日 第41回 関東学生賞典障害飛越競技大会 ~ **団体優勝**
 第41回 関東学生賞典馬場馬術競技大会 ~ **団体3位**
 第57回 関東学生賞典総合馬術競技大会 ~ **団体2位**
 三種目総合 ~ **団体2位**

9月

8日~10日 全日本総合馬場馬術大会 山梨県馬事振興センター
 9日~10日 スターフェル号記念馬術大会 馬事公苑

10月

9月29日~1日 関東学生馬術選手権大会 馬事公苑
 5日 10月クロストライアル 馬事公苑
 14日~15日 JRA馬場馬術大会 馬事公苑
 20日~22日 オリンピック記念馬術大会 馬事公苑

11月

10月31日~5日 全日本学生馬術三大大会 馬事公苑
 18日~19日 関東学生女子馬術大会 馬事公苑

12月

1日~3日 全日本学生馬術選手権大会 馬事公苑

合宿所・馬場

〒252-0813 神奈川県藤沢市亀井野840
 e-mail : nuet@msj.biglobe.ne.jp

TEL:0466-81-0288 FAX:0466-81-8885
 HP : http://www.nu-equestrian.com/

皆様応援よろしく申し上げます。